

# 釧路南ロータリークラブ会報

第13回 例会報告 2010.10.8 通算1367回

・点 鐘

木内会長

・会 長 挨拶

・ロータリーソング

「君が代」「奉仕の理想」「四つのテスト」



ソングリーダー 佐藤 了会員



会員の皆様こんにちは、先週の地区大会に参加された、会員の皆様、大変ご苦労様でした。天気にも恵まれ釧路の初夏のような気候で、少し汗が出たぐらいの良い日でした。また、今日のプログラムでお話を致しますので宜しくお願いします。

話は変わりますが、先日のニュースで日本人がノーベル賞を受賞したとのことです。今回は、化学賞で根岸英一さんと鈴木章さんが受賞されました。日本人としては18人目で、物理学賞7人、科学賞7人、生理学・医学賞1人、平和賞1人、文学賞2人となっております。ノーベル賞はダイナマイトを発明したアルフレッド・ノーベルの遺言に従って、1901年に初めて授与式が行われました。

ノーベルは遺言に「私のすべての換金可能な財は、次の方法で処理されなくてはならない。私の遺言執行者が安全な有価証券に投資し継続される基金を設立し、その毎年の利子について、前年に人類のために最大なる貢献をした人々に分配されるものとする」と残しています。ちなみに賞金は1000万スウェーデン・クローナ（約1億円）です。今回の化学賞は、3人で1億を分けることとなります。メダルは1980年以前には24kの純金でしたが、落としただけで曲がったり、傷つきやすいこともあり、現在は18kを基材として、24kでメッキした金メダルが使用されています。

以上、雑学も含めた会長挨拶とさせていただきます。

・結 婚 祝

菅井 紀之会員 H 5. 10. 1 (17年目)

佐野 実会員 S 57. 10. 3 (28年目)



菅井会員



佐野会員

## ・幹事報告



- \* 2009～2010 年度 2500 地区ガバナーエレクト事務所開設のご案内が届いております。
- \* 釧路、釧路東、釧路北、釧路ベイ、根室の各ロータリークラブより会報を拝受しております。
- \* 釧路女性団体連合会より、会報「きずな」を拝受しております。
- \* 北海道学実践講座のご案内が届いております。赤い羽根共同募金よりご協力のお願いがきております。
- \* 10月のロータリーレートは1ドル86円です。
- \* 米山記念より決算書及び豆辞典が届いております。豆辞典は皆様のロッカーに入れてありますのでご覧ください。
- \* 釧路北ロータリークラブより、職業奉仕講演会のご案内が届いております。日時は 10 月 13 日 (水) 18 時 30 分より、釧路プリンスホテル 3 階にて開催されますので出席希望者は私にご連絡ください。以上です。

## ・委員会報告

### 親睦委員会

- ・本日のニコニコ献金  
菅井 紀之会員 結婚祝として  
佐野 実会員 結婚祝として  
木内治彦会長より、エクスカッションで、ばんえい競馬・ロータリー協賛で的中しました。  
工藤ゆかり会員より、孫の、ほのかちゃんが、そろばんと習字で頑張りました。

### 出席委員会

会員 25 名 12 名出席 メーキャップ 18 名  
出席率 120%

## ・本日のプログラム

### 「地区大会参加報告」

担当 会長・幹事

#### ■木内治彦会長



先週 10 月 1 日 (金) ～3 日 (日) 2010～2011 年度国際ロータリー第 2500 地区地区大会が帯広で開催されました。私と幹事、長倉会長エレクトは、1 日に指導者育成セミナーに出席するために、11 時半に釧路を出発し、15 時～北海道ホテルにてセミナーに参加、柴田ガバナーの挨拶から始まり、渡辺好政 RI 会長代理の“THE POWER OF ONE”についてのお話がありました。その後、道下パストガバナーの決議 23・34 について、ロータリー哲学を熱く語ってくれました。また、インドネシアのバリ島にある、国立サンラ病院の施設建設、機材、器具購入、人材育成を、クタ・RC が中心になり、バリ島の全 RC と鹿児島志布志 RC や広島東 RC が援助送金し、第一段階として血液センターの建物建設、第二段階として建物の機材、器具購入と設置、血液分析器具、冷凍設備、第三段階として人材の教育と養成プロジェクトが進行中です。インドネシア国内でも一番の血液センターとなり、多くの人たちに有効に活用されているそうです。このような人道的プロジェクトが再認識され、日本を含む世界のロータリアンの温かいご支援があり、深く感謝を申し上げますとのことです。このあと 2009～2010 年度の地区資金一般会計決算書、地区資金特別会計決算書の内容説明があり、釧路北 RC 小野寺監査役が適正に処理された事を認める報告があり承認されました。18 時より RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会が行われ、2 次会では長倉会長エレクト、菅井幹事と帯広の夜を満喫し無事にホテルに戻り、明日のために睡眠を。10 月 2 日 (土) 朝ホテルから徒歩にて会場の帯広市民文化ホールへ移動すると、すでに南クラブの会員 12 名がおり、15 名の登録受付を済ませました。会場は分区ごとに区分されておりましたが、少し手狭さを感じられました。

いつもは本会議のあとに記念講演が先で、緊張感がなかった感じです。記念講演は、アサヒビール(株)中條高德名誉顧問のテーマ：「取り戻そう日本の心」、サブテーマ：「国際社会に生きるリーダーとしての条件」でした。内容は聞く人によっては良い話だが、私個人の感想は、戦争の話が多く皆様はどのように感じたのか、ただ、アサヒビールのスーパードライの話が一言もなかったのが残念でした。中條さんもロータリアンで、さすが全国で講演をこなし、時間が余っても余裕のお話ができる方だと思いました。会場の入口に中條さんの本が売られておりましたので、3冊購入しました。まだ読んでいませんので、今度、読んだ感想を話したいと思います。エクスカッション並行プログラムでは、ばんえい競馬帯広競馬場に行き、ロータリー協賛の馬券を購入しみごとの的中しました。今日のニコニコに献金しました。私の他に何人か的中した方がいますが帰りでもニコニコ献金をお願いします。夜の大会記念大懇親会は、立食で場所が狭く、2テーブルに分かれての懇親会ですが、他のクラブの人と話も出来て、楽しい時間が過ごせました。また、来年は旭川での開催ですが一会員として出席できることを楽しみにしています。また、今回の地区大会は柴田ガバナーの人間性が出た大会で、帯広6分区498人のロータリアンのおおらかさが前面に出た大会だと思います。何年か先には、7分区でも大会が開催されると思いますが、その時はお返しをする気持ちを大事にしたいと考えています。簡単ではありますが地区大会報告とさせていただきます。ありがとうございました。

## ■菅井紀之幹事



1日から、木内会長、長倉会長エレクト、私の3人でセミナーを受けました。その時にR I第3400地区のバリ島にあります血液銀行、Dr. アナック・アグン・グデ・スデワ・ジュランティックさんが講演され、マキコ・イスカンドールさんが通訳をされました。血液センターの話

は、人口330万人のバリ島民と、バリ島を訪れる海外からの年間90万人の観光客、そしてバリ島周辺の島々からの人々の重症患者を受け入れ施設を持っている国立サンラ病院という所で、およそ年間600万から700万人に頼られている病院です。1995年ごろまで設備が全然優れていなく、特に血液保存状態が最悪である。家庭の冷蔵庫の様なものに血液が保存されていて、いざ手術や輸血で血液を使う時に使えない状態になっている。最初に人道的な援助ができないかと運動したのが、クタ・RCです。チラシを配ったり運動を続けて4年ほどたった時に鹿児島県の志布志RCからロータリアンを誘って、クタ・RCにメーキャップに行った時に血液センターの建設予定を初めて知ったようです。数ヵ月後に鹿児島志布志RCから数千ドルの援助資金が送られてきました。しかし、さらに膨大な資金調達が必要だという事で運動を続けていたところ、広島東RCから40周年を迎えるにあたって、記念プロジェクトに準備した資金がある事を知ったそうです。そこで競争相手のミャンマー、ベトナム、フィリピンの学校建設のプロジェクトの応募をRIに対してしていたようですが、バリからもクタ・RCの血液センター建設プロジェクトを駆け込みで応募しました。駆け込みではありますが、バリ島クラブがプロジェクトに勝ちまして、バリ島の全クラブが一丸と成ってプロジェクトを救援することになったとのこと。木内会長からも話がありましたが、建設に関しましては第一段階、第二段階、第三段階とありましたが、第1段階では広島東RCの協力が大きかったようです。血液センターの玄関を入ると右手の壁に寄付してくれた団体の名前が彫りこんであり、一番上に比較的大きく広島東RCの名前が彫りこんであるそうです。これは最初に広島東RCの資金がなければ後続の資金も集められなかったという事で、広島東RCの貢献を高く評価しているそうです。血液センター長の感謝の気持ちから2階の教授の応接間は、広島の間と命名されています。血液センターはまだまだ進化していますが、これからの課題として車が何台かあるがボロボロな状態である。車の中にコンピューターを積み、車を走りながら情報を取れるようにしたい。それから赤血球、白血球、血栓を分析する機械を取り入れていきたい。建設してくれる人をどうマネジメントしていくか、血液カードをコンピューター化して管理をして行きたい等様々な問題点があるので、引き続き関係各位にご協力の要請をしていくとのこと。バリ島は不幸にも2

度の爆弾テロに会い、最初の時は日本人2人を含む88人が犠牲になりました。3年後にはさほど規模は大きくないけど、犠牲者が出ました。両方の事故でこの血液センターの果たした役割は大きく、血液センターが前の様な状態であれば犠牲者はもっと多かつたのではとされています。バリのこの様な活動と救援活動に対しまして、2006年にオーストラリア政府は、感謝の証としてサンダ病院敷地内にやけど患者専門の皮膚処置を含む集中治療室を備えた別棟を建設して貢献したそうです。私たちただお金を出す寄付ではなく、寄付をした中で自分たちがそこに見に行き実際に役立っている事を感じる事も大事だと思いました。この様な話を聞けるのもロータリーに入っているからだだと実感しました。2日目はロータリーカップがあるということで、競馬に行かせてもらいました。私は普段競馬をやった事がないので色々予想して買いましたが、2回位は勝つたのですが最終的には負けてしまいました。地方での地区大会は初めて出席させていただきました。会場の熱気とロータリアンの思いが伝わってきて、私も勉強に成りました。来年も旭川に皆さんと一緒に参加させて頂きたいと感じました。最後に皆さんお忙しい中、地区大会に参加していただきましてありがとうございました。

■長倉巨樹彦会長エレクト



10月1日、今までは、会長・幹事のみ出席の指導者育成セミナーに参加してきました。今回は、次年度幹事も出席義務になっていたようですが、8月の時点で次年度幹事が決っておりませんでしたので、次年度は私一人です。その中では、道下パストガバナーが、決議24-34についての話で、これは、もう4回位聞きましたが、その話に終始していました。自分なりの解釈では、その決議が意味するところは、ロータリーにとって必要不可欠であり、且つ重要な事柄であると認識しております。職業奉仕が何故大事か。RIとの関係については、

各ロータリークラブの自主性を持つ意味というのを感じてお話を伺っておりました。

賛否両論あるかもしれませんが、絶対に風化させていけなく、後世に伝えていかなくてはならず、それが、私たちに課された使命なのかもしれません。



地区大会会場



木内会長・トゥイ・小船井PDG



地区大会新聞記事



・ 次回のプログラム

10月16日(土)

「スポーツ例会(家族同伴)」夜間移動例会  
会場 パレスボウル・焼肉ぎゅう太

担当：親睦活動委員会

・ 点 鐘 木内会長  
今週の会報担当：福井克美会員